【国際ボランティア実務士】教育課程　到達目標達成度評価表（提出用）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 資格到達目標 | 開発能力 | 具体的な学修目標 | 学生自己評価（項目別）レベル | 学生自己評価（領域別）総合評価 |
| 領域１　国際ボランティア実務全体に関する基礎知識および国際ボランティアが必要とされる国際情勢についての基本的理解と、刻々と変化する最新情報を学び続ける基本姿勢と実践学修ができる基礎能力を修得している。 | 1-1国際ボランティアについての基礎知識 | ①日本および海外の市民社会、NGO・NPOについての発展の歴史、背景、現状および特徴を理解している。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ②開発、人道支援、人権、環境、平和構築など多様な分野における実践事例を理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-2国際ボランティアの基礎的能力 | ③国際ボランティア活動に関連した情報を的確に収集し、批判的に分析し、要約する力を身につけている。 | 5・4・3・2・1 |
| ④国際情勢や開発に関して、常に学び続け、それを適切に組織に還元し、政策に反映するために発信する力を身につけている。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-3国際情勢についての理解 | ⑤グローバル課題についての基本的理解を身につけている。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑥ボランティアを取り巻く環境と歴史（市民意識、政策、住民運動など）について理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域２　国際ボランティアが必要とする幅広い実務および組織マネジメントについての理解と実践的に対応できる能力を身につけ、開発協力についてのアプローチを理解するとともに、多様な社会や他者を理解しコミュニケーションを図る力を備えている。 | 2-1国際ボランティアの実務能力 | ⑦人材管理や広報、ファンドレイジング、関連政策や法制度などボランティア組織のマネジメントを理解している。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑧現場における開発活動のために必要な手法（社会調査方法、プロジェクトサイクルなど）を理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-2開発協力アプローチの実践力 | ⑨SDGsなど国際目標や国際機関の取り組み、社会開発論や市民によるグローバルキャンペーン、参加型開発など草の根からの開発アプローチを理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑩開発政策やガバナンス、安全保障など国家主体の開発のあり方とそれに対する住民や当事者主体の抵抗運動などについて理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-3異文化理解および外国語による他者とコミュニケーションする力 | ⑪英語をはじめとする外国語によるコミュニケーション力を身につけている。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑫異文化を理解し、様々な他者に共感し、共同する受容力を身につけている。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域３　国際ボランティアの基礎知識や実務に関する知識を活用するための関連実務経験を有し、課題発見・解決力、学びの継続力の重要性を理解している。 | 3-1国際ボランティアの総合的実践力 | ⑬国際ボランティアの知識や技術を幅広く活用して、海外や異なる文化的背景をもった他者との交流や協働ができる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑭ボランティアの現場あるいは後方支援組織でのインターンシップを経験する。 | 5・4・3・2・1 |
| 3-2実践活動における学びの継続力 | ⑮国際ボランティアの総合的課題演習やゼミ活動を通して、課題を発見し解決する能力を身につけるとともに、将来、高い専門性を有する国際ボランティアとして活動するための学びを継続することの重要性を理解している。 | 5・4・3・2・1 |

〇評価結果の全体振り返りと今後の自分の開発能力と学修課題について（300字程度 学生記入）

|  |
| --- |
|  |

教職員提出確認

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大学ｺｰﾄﾞ |  | 大学名 |  | 学部・学科 |  |
| 学籍番号 |  | 氏名 |  |